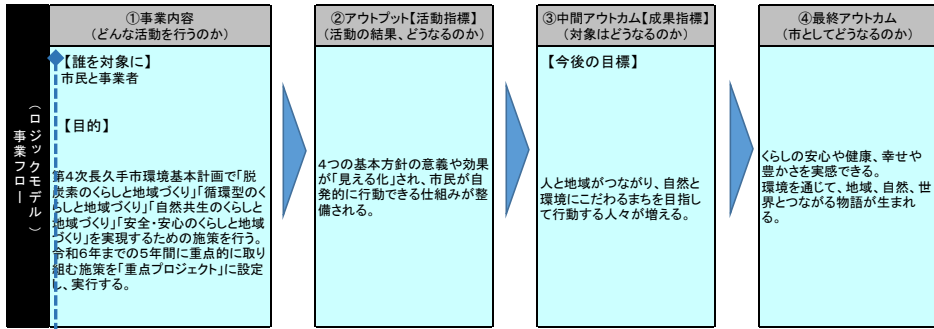


長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	18	事業名	環境基本計画推進事業	担当部課	くらし文化環境課	
基本情報	第6次総合計画・基本目標	3 みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物			決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—			会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無			予算区分(款-項-目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有	長久手市環境基本条例、第4次長久手環境基本計画			4-1-3 環境基本計画推進事業
事業開始の背景、経緯等	令和3年3月に策定した第4次長久手市環境基本計画の目標を達成するため、事業を実施する。					
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)			



項目	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
			11,246	8,246	6,397	19,522	5,399
事業費(A)	千円	予算	11,246	8,246	6,397	19,522	5,399
		決算	10,349	2,178	6,375	10,891	-
人件費(B)	千円	決算	6,883	6,644	6,671	6,954	-
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	17,232	8,822	13,046	17,845	-
事業対象の数(D) (R5年度は想定数)	人		58,545	59,499	60,035	60,352	60,770
対象あたりコスト(C/D)の過去3年平均値	千円		0	0	0	0	

中間アウトカム【成果指標】の数値設定 (事業の意図を反映する指標)	単位	【現状】			【目標①】		【目標②】	
		R4年度(2023)年実績	R5年度(2023)年実績	R7年度(2025)年実績	R5年度(2023)年実績	R7年度(2025)年実績	R7年度(2025)年実績	
エコチャレンジ事業のエントリー数【累計】	件	610	810	1210				

(数値目標の根拠: 調査名、調査年など出典)
 (指標の設定根拠) 第4次環境基本計画において、2030年までの取組のキーワードを、「人づくり・地域づくり」としている。市民が自発的に環境配慮行動を行うためのきっかけ作りとして令和4年度から「ながくてエコチャレンジ事業」を開始したため、その事業へのエントリー数を成果指標と設定する。
 年間200件の参加を見込む

事業開始からの経緯など	第4次長久手市環境基本計画(令和3年度～)を策定した。お披露目会として長久手市の気象についての講演会実施し、環境問題が生活に密着していることを市民に発信した。
令和4年度の成果	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 自家用車を使用しない通勤や省エネを意識した生活に挑戦し、達成報酬として環境に寄与する特典を付与するecoチャレンジ事業を実施し、延べ610人のエントリーがあった。
改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 2030年までの取組のキーワードを「人づくり・地域づくり」その手段として「見える化の徹底」としている。取組の意義や効果が見える化が徹底されていないため、効果的に見える化する手段があれば市民参加が増加する。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事業の方向性) 公共施設における使用電力量の見える化を令和6年度までに実施する。
--------	---

事務事業①	環境基本計画推進事業						
活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	R8年度(2026)
(1) COOL CHOICE等に関するイベント参加者【累計】	人	見込	2,357	2,607	2,707	2,807	2,907
		実績	1,676				
(2) 環境審議会の開催回数【単年】	回	見込	2	2	2	2	2
		実績	2				
(3)		見込					
		実績					
<備考:活動の概要(R4年度(2022))>						今後の方向性	改善・見直し
環境配慮行動を促進するため、「ながくてecoチャレンジ2022」を実施し、610人の参加があった。						コスト投入	現状維持

事務事業①	地球温暖化対策設備導入促進事業						
活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	R8年度(2026)
(1) スマートハウス化に対する支援件数【累計】	人	見込	40	50	60	70	80
		実績	39				
(2) 環境配慮型まちづくりアンケート回収件数【累計】	件	見込	10	20	30	40	50
		実績	8				
(3)		見込					
		実績					
<備考:活動の概要(R4年度(2022))>						今後の方向性	改善・見直し
地球温暖化対策設備を有した住宅を促進するため、補助制度を実施しており、令和4年度は34人に補助を行った。環境配慮行動を促進するため、「ながくてecoチャレンジ2022」を実施し、610人の参加があった。						コスト投入	現状維持

事務事業②	自然環境保全事業						
活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	R8年度(2026)
(1) 運営に携わる市民の人数	人	見込	5	10	15	20	25
		実績	7				
(2) ニノ池湿地群保全管理計画推進協議会の開催【単年】	回	見込	1	1	1	1	1
		実績	1				
(3) 外来種勉強会及び駆除イベントの参加者数(延べ数)【累計】	人	見込	180	200	220	240	260
		実績	341				
<備考:活動の概要(R4年度(2022))>						今後の方向性	改善・見直し
令和5年3月7日ニノ池湿地群保全管理計画推進協議会を開催した						コスト投入	現状維持
環境学習会(東小4年生) 95人 ポストサミット参加者 21人							

事務事業③	事務事業②の続き						
活動指標	単位	区分	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)	R8年度(2026)
(4) 自然環境調査への市民参加者数【単年】	人	見込	-	200	200	200	200
		実績	238				
		見込					
		実績					
		見込					
		実績					
<備考:活動の概要(R4年度(2022))>						今後の方向性	
重点地区での作業及び調査を東山八津田9回、ニノ池湿地12回、鯉ヶ廻間上池・下池周辺湿地を13回実施した						コスト投入	